

見る、知る、
伝える千葉

創作狂言

ちばわらい

不満は笑つて吹きとばせ！

ちばわらい

令和5年1月8日(日) 14時開演

青葉の森公園芸術文化ホール

全席自由 (税込)	一般 U-30 小中高生	2,100円 1,000円 500円	※障がい者手帳をお持ちの方の介助者様1名は無料でご観覧いただけます。 ※U-30は、小学生・中学生・高校生を除く30歳以下の方が対象です。 ※13時より座席引換を行います。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
--------------	--------------------	--------------------------	---

第一部 レクチャー&デモンストレーション

狂言「仏師」 出演 シテ スッパ 小笠原 由祠
アド 田舎者 小笠原 弘晃

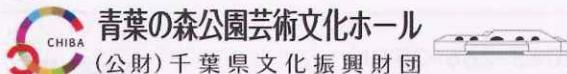
第二部 創作狂言「ちばわらい」

作・演出 小笠原 由祠 制作協力 千葉大学
出演 小笠原 由祠 小笠原 弘晃 TAKAKO 加藤 充華
若菜の会 千葉大学学生 狂言体験講座参加者



狂言師
小笠原 由祠

主催:



運営:見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

助成:芸術文化振興基金

後援:千葉県、千葉市教育委員会

チラシデザイン:千葉大学法政経学部3年 高橋 梨賀



プレイガイド:

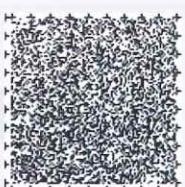
インターネット予約 <https://www.cbs.or.jp/>

青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

千葉県南総文化ホール 0470-22-1811



この音声コードをスマートフォンアプリ Uni-Voice で読み取ると音声情報でご確認いただけます。

第1部

狂言「仏師」

自宅の持仏堂に納める仏像を求めて都へやってきた田舎者が、スッパ（かたり者、詐欺師）と出会います。話を聞いたスッパは、自分が仏師（仏像を作る工匠）だと偽り、翌日受け取りに来るよう言いました。翌日、スッパは仏像になりすまして田舎者から金をだまし取ろうとしますが、田舎者は印相がおかしいから手直ししてほしいと言い出して……。

田舎者が指摘するたびに慌てて仏師と仏像との早替わりを繰り返すスッパの姿が、見る人の笑いを誘います。

第2部

創作狂言「ちばわらい」

大晦日の夜、太郎冠者が千葉寺で行われる「千葉笑い」に参加する、と聞きつけた主人は、わざと太郎冠者に用事を言いつけます。しかし太郎冠者は、主人の用事を後回しにして「千葉笑い」へ。一方主人も、太郎冠者が言いつけを守っているか確かめようと、仮面をつけて「千葉笑い」に出かけていきますが……。

「千葉笑い」とは、江戸時代の終わり頃まで千葉寺で実際に行われていた行事です。大晦日の夜、近隣の人々が身元を隠して集まり、為政者などの悪口を言い合った後に大笑いして新しい年を迎えたと言われています。2010

（平成22）年からは「千葉笑い実行委員会」によって復興され、2018（平成30）年に「次世代に残したい『ちば文化資産』」にも登録されました。



おがさわら ただし
小笠原 由祠

能楽師狂言方和泉流 公益社団法人能楽協会会員
日本能乐协会会员 重要無形文化財総合指定保持者

1965年生まれ。初世 野村 萬(人間国宝)、故8世 野村万蔵、9世 野村万蔵に師事。

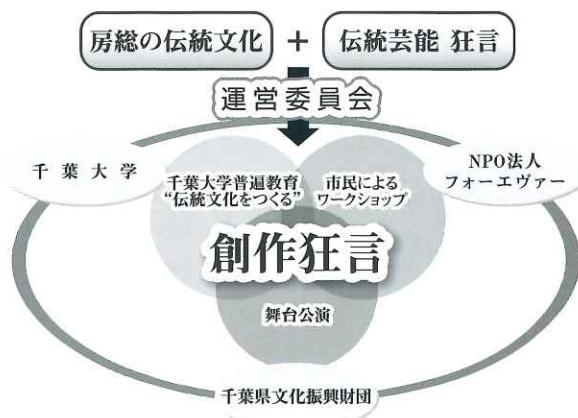
狂言の大曲「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を披く。2006年より「見る・知る・伝える千葉～創作狂言～」をプロデュース、毎年千葉県の神話・民話・風習を創作狂言に劇作・演出。NHK大河ドラマ「義経」、金曜時代劇「出雲の阿国」芸能指導、朝の連続テレビ小説「カーネーション」「ごちそうさん」所作指導。2012年より桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクト「中近世の日本とイタリアにおける仮面喜劇の生成発展と現代的実践について」にて、毎年ヴェネツィア大学で狂言とイタリア伝統仮面劇「コンメディア・デッラルテ」のシンポジウム、ワークショップ、公演を行う。2016年よりパリ日本文化会館にて年3回「伝統の継承」を企画プロデュース。

現在、萬狂言関西支部代表。ホームページ <https://atelier-oga.com/>

「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト ～古くて新しい伝統文化への取組み～

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原由祠、千葉大学、千葉県文化振興財団、県民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」「南総里見八犬伝（千葉県広域）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



〒260-0852 千葉市中央区青葉町977番1号 TEL043-266-3511

交通案内

【JR千葉駅東口より】・2番のりば 星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
・7番のりば 「中央博物館」下車 徒歩約10分

【JR蘇我駅東口より】・2番のりば 大学病院行「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分

